

事業所工賃向上計画(令和6年度～令和8年度)

作成日: 令和 6年 5月 15日

1. 事業所の概要

運営法人名称	一般社団法人 ハンズハンズ		
法人代表者職・氏名	代表理事 尾関 准一		
事業所名	結リンク		
施設長名			
サービス種類等 (プルダウンで選択)	就労継続支援B型事業所		
事業所 所在地等	〒504-0025 岐阜県各務原市那加野畑町2丁目6番地		
	電話 080-7503-6877	FAX 058-322-2647	
	E-mail yuirink@handshands.org	担当者 安江 かおる	
法人本部	〒504-0038 岐阜県各務原市那加大門町1丁目39番地		
	電話 058-216-6021	FAX 058-216-3113	
	E-mail info@handshands.org	担当者 山内 千絵	
定員数 (令和6年4月)	10 名	現員数 (令和6年4月)	9 名
施設の特徴	1人1人が自分のペースで精力的に仕事に取り組んでいる。それぞれの「やりたいこと」をできるだけ尊重し、時には休憩を取りながら無理なく過ごしている。月に一回の3B体操を始め、クッキング、ピクニックなどのレクリエーションを取り入れて「楽しく毎日通う」を目標にしている。利用者の年代も近く、仲間意識を持って助け合って生活することが出来ている。ドッグカフェでの施設外就労、自主製品や野菜の販売で地域の方々との関りを持っている。		
主要作業の内容	・自動車部品の内職作業 ・ハンガー組み立ての内職作業 ・畑での野菜作り、販売 ・多肉植物の寄せ植えやゴミ袋など自主製品の製作、販売 ・施設外就労(ドッグカフェ)での接客やカフェで使用する備品の製作		

2. 目標工賃月額の設定

水色のセルは自動計算になっています。
入力しないでください。

【実績額と目標工賃月額】

各年度の目標工賃額は前年度の額以上としてください。

	実績額	目標工賃額		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年間売上高(①)	644,176円	650,000円	660,000円	670,000円
工賃支払総額(②)	502,854円	530,000円	560,000円	590,000円
年間述べ利用者数(a)※1	1,897人	1,897人	1,897人	1,897人
年間開所日数(b)	238日	238日	238日	238日
開所日1日当たりの平均利用者数(③)(a/b)※2	8.0人	8.0人	8.0人	8.0人
年間開所月数(④)	12月	12月	12月	12月
平均工賃月額(②/③/④)※3	5,238円	5,521円	5,833円	6,146円

※1 各日の利用者数の総数を入力してください。

※2 小数点第2位以下は四捨五入してください。

※3 円未満は四捨五入してください。

3. 工賃向上に向けた取組方針

これまでの目標工賃の達成状況に対する評価・課題・分析	開所以来、100%頼っていた内職作業をR5年度は約50%に抑えることが出来た。代替えとして、R3年3月から施設外就労を開始。また、畑での野菜作りや新聞紙を使つてのゴミ袋、多肉植物の寄せ植えなど自主製品の販売をしてきた。コロナ禍中も施設横の無人販売にて野菜と自主製品を販売し、地域の方にも認知していただき売り上げも上昇している。今後はイベントなどに積極的に出店すると同時に自主製品の開発を進めていき、内職に頼らない収入を拡大していく。
工賃向上の取組方針	自主製品販売のため、イベント開催の情報を集める。安定して製作できる自主製品の開発。無人販売所を大きくするための棚の設置。販売野菜の量や品種を増やす。イベント出店、無人販売所、施設外就労先のドッグカフェのアピールをインスタグラムやYouTubeで行う。

令和6年度から3か年の具体的な取組方針(年度別)

令和6年度	無人販売所の棚の検討、設置。イベント開催の情報収集。
令和7年度	自主製品の開発。新しいイベント出店。無人販売所やイベントのアピール。
令和8年度	イベント出店の固定化。新しいイベントへの参加。

4. 主要作業の現状と今後の取組

作業の区分	自主製品		
具体的作業名	野菜作り、販売、自主製品販売		
作業内容、特徴	<p>○作業内容 近所に借りている畑にて手入れ作業、野菜作り、収穫。 自主製品の製作。 施設横に設置している棚にて無人販売。</p> <p>○特徴 畑にて草取り、耕作、種や苗を植えて野菜作り。野菜を収穫し、販売用に整えて梱包。 新聞紙を使ったゴミ袋、多肉植物の寄せ植え、ビーズを使ったアクセサリーやキーホルダーなど製作し、無人販売にて販売。福祉フェスなどのイベントにも出店。</p>		
年間売上額	644176	円	従事する利用者数 9名
現状分析 ・ 課題	<p>○これまでの取組、工夫、強み 令和元年ごろから野菜の無人販売を開始。それに伴い、少しずつ自主製品を増やしてきた。近所の方々に少しずつ認知していただき、常連客も増えて好評いただいている。</p> <p>○課題の分析 天気が悪い日は施設玄関先での販売となり、集客が難しい。自主製品のアピール力が不足し売り上げが伸び悩んでいる。</p>		
課題を踏まえた 目標・方針	<p>○課題を踏まえて令和8年までに目指す姿 利用者が楽しんで作れ、且つ魅力のある自主製品の開発。 野菜を含める商品の魅力アピールの拡大。 定番のイベント(福祉フェスやお仕事フェアなど)以外のイベント情報の入手と出店。</p>		
目標達成に向けた 方針・具体的取組	令和6年度到達目標		
	無人販売棚の改良。イベントの情報収集と出店可能かどうかの検討。 無人販売所やイベントのアピール。		
	令和7年度到達目標		
	自主製品の開発。新しいイベント出店。		
	令和8年度到達目標		
	新しい自主製品の定番化。販売できる野菜量や品種の拡大。		

【関係資料】

- ・施設のパンフレット・自主製品の紹介資料
- ・工賃向上計画の内容を説明する補足資料(収支決算書等、必要に応じて添付)